

京都時代祭と洛南研修報告

10月22日から23日にかけて本協会の恒例の県外宿泊研修(時代祭と京都洛南の旅)を実施した。今回は京都三大祭の一つ「時代祭」を京都御所の観覧席で見学することを中心に企画されたので、高鷲の「こぶしの会」と共催で行うことにした。このため参加者は男性23名、女性19名の計42名と、大型観光バスが満席という状態であった。

22日の朝6時30分快晴の天気のもと、東海北陸道、名神高速道を経由して京都東ICで降り、11時に京都御苑へ着いた。気温26℃と汗ばむ陽気のもと、京都御所玄関前の観覧席で、12時から始まる時代祭の行列を待った。行列は明治維新時代の「維新勤王隊列」「幕末志士隊列」にはじまり、江戸時代「徳川城土上洛列」「江戸時代夫人列」、安土桃山時代の「豊公参朝列」「織田公上洛列」、室町時代の「室町幕府執政列」「室町洛中風俗列」、吉野時代の「楠公上洛列」「中世夫人列」、鎌倉時代の「城南流鏑馬列」、藤原時代の「藤原公卿参朝列」「平安時代夫人列」、延暦時代の「延暦武官行進列」「延暦文官参朝列」が続き、最後に神幸列の「神饌講社列」「前列」「神幸列」「白川女献花列」「弓箭組列」で終わる。所要時間は2時間強かかり、登場人物は2000名余の大行列であった。行列は京都御苑を出て丸太町通、御池通、三条通、神宮道から平安神宮までおよそ4.5kmの行進で、沿道からは数多くの市民及び観光客の観衆が見ていた。



(維新勤王隊列)

予定していた見学時間が1時間以上遅れて世界遺産の醍醐寺の参拝に向かった。醍醐寺三宝院前で集合記念写真を撮り、三宝院の拝観と京都最古の五重塔の見学などを各自自由に散策し、中秋の京都の夕暮れを楽しんだ。

醍醐寺三宝院を拝観後、ホテルに到着。

夜は衣笠の間で本協会とこぶしの会合同の宴会である。酒が入ると皆さんは盛り上がりカラオケ三昧で、京都の夜を楽しんでいた。

翌23日は朝から雨、8時50分にホテルを出て、ホテル横の京都国立博物館に向かった。だが、開門時間は9時30分からであったので、博物館の見



(醍醐寺三宝院勅使門前で記念撮影)

学はあきらめ、前日拝観予定であった日野の法界寺に向かった。

法界寺は親鸞聖人が誕生されたところで、現在は真言宗であるがご住職が雨の中、暖かく私たちを迎えてくれた。そして、薄暗い阿弥陀堂(国宝)に安置されている定朝様式の阿弥陀如来坐像(国宝)をサーチライトを使い熱心に説明していただいた。



(国宝阿弥陀堂へ入る参加者) 参加者は平等院鳳凰堂の阿弥陀仏と同じ頃の仏像に興味深く聞き入り、質問も出るくらいの盛況であった。その後、京都自由散策地である月桂冠大倉記念館と坂本龍馬の定宿であった寺田屋へ向かった。

宇治川河畔の喜撰茶屋で昼食後、宇治市にある黄檗山万福寺に向かった。万福寺は江戸時代に中国福建省か(万福寺でご住職の説明を受ける参加者)

ら渡来した隠元禅師が後水尾天皇や徳川四代将軍家綱の尊崇を得て1661年に開創された寺院であり、日本三禅宗(臨濟、曹洞、黄檗)の一つ、黄檗宗の大本山である。建造物は、中国の明朝様式を取り入れた伽藍配置で、創建当時のまを今日に伝えているという。境内では、ご住職から万福寺や黄檗宗の説明、開版のある齋堂等各建造物の見所などの説明を受けた。

その後、一路高鷲に向かいバスを走らせた。車中はカラオケ三昧で楽しい二日間であった。

会員N・S氏のメモから

2012年10月22日(月)晴れ

朝食：コーヒー、リンゴ、プルーン、ブドウパン1枚、昨夜の野球の悔し涙で目が腫れています。**6時5分**家出、相棒の車で役場前へ。名鉄観光の大型バス、既に皆さんを乗せて待つなり。N村さんもちゃんと座っています。おツマミと資料プリントを受け取り、会費26,000円を支払う。空はまっ青、お日さまはピカピカ 旅日和 そうだ きょうは きょうとへ行くノダ! そうだ きょうは 時代祭ナノダ!

7時40分1時間目の事業開始 馬淵会長の解説はじまる。先ずは、京都とは? 歴史を紐解く。会長さん、今日も快調 絶好調。(中略)

10時2時間目授業開始 京都の街を説明、若い新しい話題、ノーベル賞も登場。かなり京都に詳しいので、会長は京大出身? と思いきや違うと仰る。市内観光続く。京都にも空襲があった話、「からすま」「カラスマル」でないよ、とだめ押しするなどの説明。予定より早く御所の駐車場着、早めにお昼も済ませたし、「時代祭」見学準備スタンバイOK。

正午 笛太鼓を先頭に出発。パンフレットの解説を見ながら、明治から平安までの1300年の時代絵巻の行列を観覧 人2000人 馬? 牛?、汗ばむような天気、2時間で1300年分を移動するのですから、流石に見る方も疲れます。先頭は明治時代だった。あと100年生きていたら先頭は、昭和時代になっているのかな?

さて、**バスに戻り次なる目的地へ**、ところが街の中は、まだ行列が続いています。ビックリ仰天、二度も見てしまいました。それにしても人が沢山います。高鷲で出会う人の100年分です。これでは、ノンビリ長生きなんて出来ないよ 街の衆よ 大変ですね。

車中の会話 「あれは、五條の橋やないけ 牛若丸の おーっ修学旅行を思い出した」スゴイ時代を遡ったK村さんとH橋さんでした。それにしても街の中には、お爺さんお婆さんの姿が見えません。街中の高齢者は、何処で何をしてるんやろう?

第4時間目 醍醐寺 三宝院 キーワードは、秀吉デザイン庭園、そして、秀吉が開いたお花見。いつも思うことですが、古いモノは素晴らしい。庭も建物も。時間が遅れたので、法界寺は明日の楽しみに残して、ホテルへ向かいます。修学旅行生が泊っている大きなホテル。部屋番号を忘れそうとの声多し。ボクは417号室だよ ヨイナ 忘れないぞ ヨイナ。この後は、お風呂と宴会なのだ。

2012年10月23日(火)雨

8時50分 今日でも京都の勉強に、たかすの文化財保護協会とシニアクラブの老若男女42名は二日酔いにも負けず小雨降る京都の街へ出発するのだった。

1時間目は、国立博物館、ホテルの隣です。でも、こんなに朝早くから開いているのかな? 駐車場へ入るも、開館時間は、しばし・・・、1時間目は休講となる。会長の案内で京都の街を見学しながら法界寺に向かう。みずみずしい老若男女により、車の中は除湿の要

9時50分 法界寺 阿弥陀堂 住職より説明を受ける。親鸞聖人が最初にお参りしたホトケサマを今、目の前にしているわけです。童顔、ふくよかな面立ち、ホトケサマの手の組み合わせ方を教わる。サーチライトを駆使して説明、迫力あり。皆の集中力アップに貢献。「宝草」などの説明に皆上手にうなづく。賽銭箱の前に帽子を置けども御利益なし、バチアタリナリ。質問者1: 天台宗から真言宗へ変えるなどということが出来たのですか? 質問2: 応仁の乱などで被害を受けなかったのですか?

11時 月桂冠着 記念館見学後 にぎやかに試飲。バスの中で半出来? 試飲で上出来。お買い求めはもちろんお酒。女子衆は寺田屋方面へお買い物ツアー。

13時30分 昼食後、最後の勉強会は、黄檗山(オオバクサン)万福寺(マンブクジ)大食いさん満腹時 なんて下手なシャレ (中略)

帰りの車中はカラオケの歌声と拍手がはじけるカラオケハウス。バスも元気よく郡上へ! 皆さん ありがとうございます。

うた声を 笑 はじける 秋の旅

よみ人知らず